

ALBERO PRO

ヘリンボンフローリング施工・養生説明書

株式会社アルベロプロ

〒183-0023 東京都府中市宮町 1-40-12F

TEL : 042-340-7685 FAX : 042-369-2220

www.alberopro.com

当社のフローリングは、一定の含水率に調湿した乾燥材を用いていますが、

天然木の特性として湿度による膨張収縮があります。

湿度変化が起こった際のトラブルを未然に防ぐためにも、必ず以下の手順をお守りの上、施工を行って下さい。

施工前の確認と注意点

《重要》施工後の商品の返品や交換には応じかねますので、必ず施工前に商品違い・数量違い・損傷の有無がないかご確認ください。万一、問題が認められた場合は施工を行わず直ちに弊社までご連絡下さい。

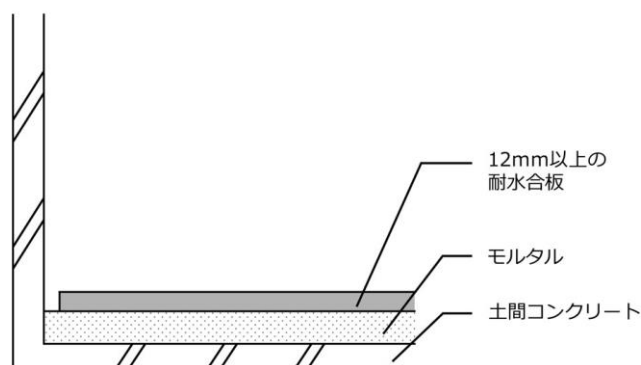
●商品は、室内の平滑な場所に保管ください。また、直射日光のあたる場所や高湿度な場所での保管はお避け下さい。

釘打ち複合・無垢ヘリンボンフローリングの施工方法

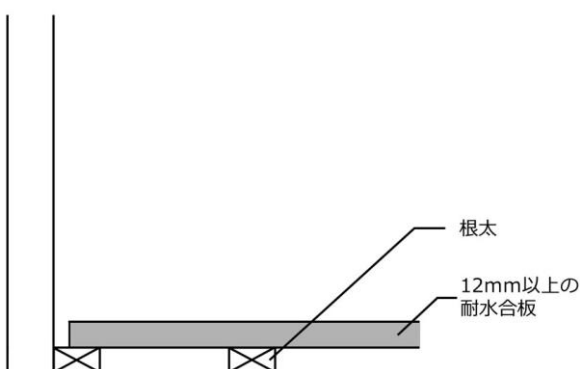
① 下地処理

●下地には、必ず厚さ12mm以上の耐水合板を捨て貼り下さい。

《モルタル直貼りの場合》



《木組下地の場合》



●下地、根太は必ず十分乾燥した材料をご使用下さい。

乾燥不十分な根太は、材料の収縮により床鳴りが発生する原因となります。

* 根太は含水率 10～12%以内の十分乾燥されたものをご使用下さい。

●床下には必ず、建築基準法に基づく換気口を設けてください。

換気が不十分で湿気が籠ると、突き上げやカビが発生する原因となります。

● 土間モルタルの含水率は、10%以下を目安にして下さい。

● 下地の不陸がないことを確認し、下地合板の継ぎ目は段差 0.3mm 以内にして下さい。

材料は鋭角のため、下地の凸凹により目違いが起きやすいので、下地合板は水平に固定してください。

② 開梱・仮並べ

● 当社のフローリングは天然木を使用しているため、材一枚一枚の色合い・木柄が異なります。

貼り始める前に 3~4 ケースを開封・仮置きし、全体的な色・柄のバランスを取りながら施工することをおすすめします。

* 色合いや柄が気になる材は、什器下など目立たない場所にお使い下さい。

③ フローリングの貼り込み

● 当社のフローリングは天然木を使用しているため、湿度による伸縮が起こります。

敷き始め・敷き終わりは、壁際から複合フローリングで 3~5mm 程度、無垢フローリングで 5~10mm 程度の隙間を設けた上、巾木で覆ってください。

* 壁がコンクリート打ちっばなしの場合や巾木の厚みが薄い場合は、壁際は同上的間隔をあけた上でコーキング処理をして下さい。

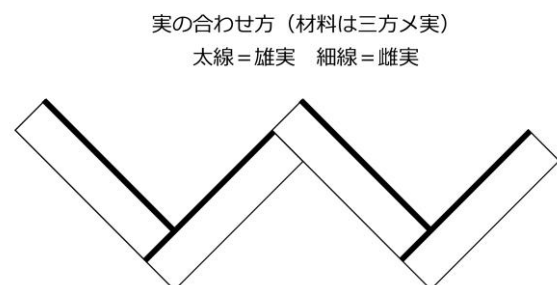
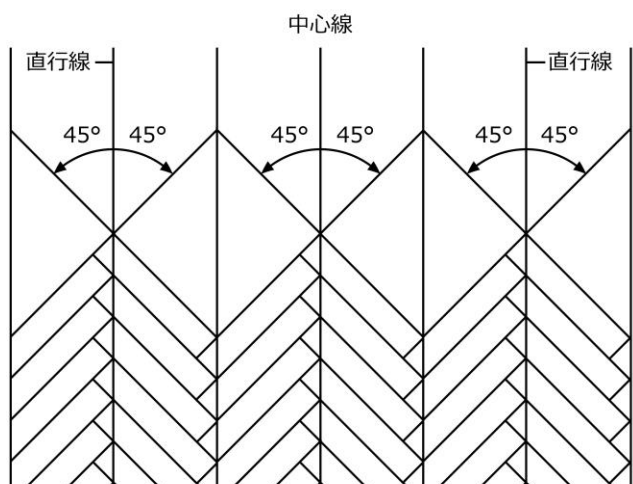
● フローリングは必ず、フロー釘又はフローステープとボンドを併用して施工して下さい。

フロー専用釘以外の使用は避けて下さい。ピンタッカー（フィニッシュ）等の細い釘は保持力が弱い為、釘鳴りの危険性やフローリングが動く原因となりますので、絶対にお避け下さい。

* 釘の長さは 28~38 mm のものを使用し、釘打ちの角度は、斜め 45 度前後として下さい。

● 接着剤はフロー用 1 液型ウレタンボンド又は 2 液型エポキシボンドを、らせん状に塗布して下さい。

（全面塗布の必要はありません）木工用ボンド（酢酸ビニルエマルジョン系）は、反りや床鳴りの原因となりますので使用しないで下さい。なお、接着剤が床表面についた場合はすぐに拭き取って下さい。



- 墨出しは上図のように直行線と45度の交差線を出して下さい。
- センターは壁の長さを測り、左右の壁面に納めの材料が均等になるように中心線を割付することをおすすめします。
- 寄せ具合により、貼り方向がずれることがありますので、常に基準線に合わせて材料を寄せて接着、固定して下さい。

④ 養生

●施工後はフローリングの表面に擦り傷や、石膏ボードの粉が入り込まない様、養生シート・ボード、ダンボール等を併用しながら床全体を隙間なく養生して下さい。

露出している箇所があると、紫外線等により変色する可能性がありますのでご注意ください。

*** 養生テープは、フローリングに直接貼らないでください。**

テープから溶剤が浸透し、塗膜剥離やシミになる恐れがあります。

